

令和 6 年度実施 三次市の教育に関するアンケート【保護者】

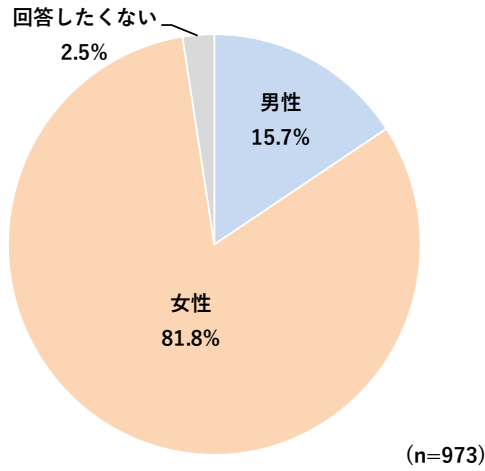
三次市立小中学校のあり方に関する基本方針の策定に向け、保護者の教育に関するご意見を把握し、方針策定の基礎資料とするため、下記のとおりアンケート調査実施しました。

- 1 調査対象 市内小中学校に在籍する児童生徒の保護者
- 2 調査期間 令和 6 年 10 月 8 日（火）～10 月 28 日（月）
- 3 調査方法 個人のスマートフォンまたはパソコンなどから回答
- 4 回収数 973 人
（参考：令和 6 年度小中学校 PTA 保護者会員数 2,630 人）
- 5 アンケート項目
 - 問 1 あなたの性別をお答えください。
 - 問 2 あなたの年齢をお答えください。
 - 問 3 あなたのお子さんが就学している学校について該当するものはどれですか。
 - 問 4 あなたのお子さんについて該当するものはどれですか。
 - 問 5-1 確かな学力の育成について、あなたが重視することはありますか。
 - 問 5-2 豊かな人間性の育成に関する取組について、あなたが重視することはありますか。
 - 問 5-3 教育環境の整備・充実について、あなたが重視することはありますか。
 - 問 6-1 小学校の配置について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
 - 問 6-2 中学校の配置について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
 - 問 7-1 市内小学校の再配置を行う場合、どの程度のクラス数が望ましいと思いますか。
 - 問 7-2 市内中学校の再配置を行う場合、どの程度のクラス数が望ましいと思いますか。

問1. あなたの性別をお答えください。

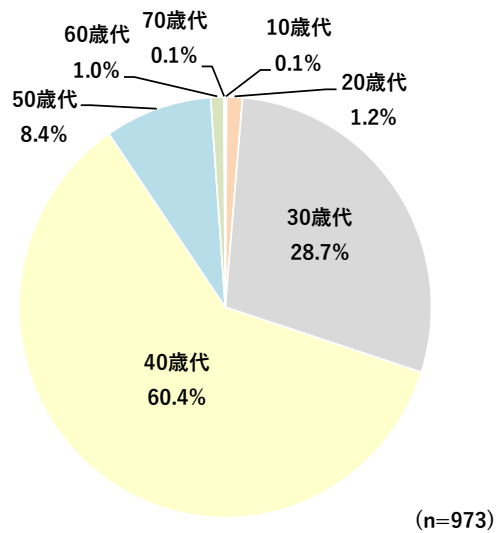
(SA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	男性	153	15.7
2	女性	796	81.8
3	回答したくない	24	2.5
	サンプル数 (% ベース)	973	100



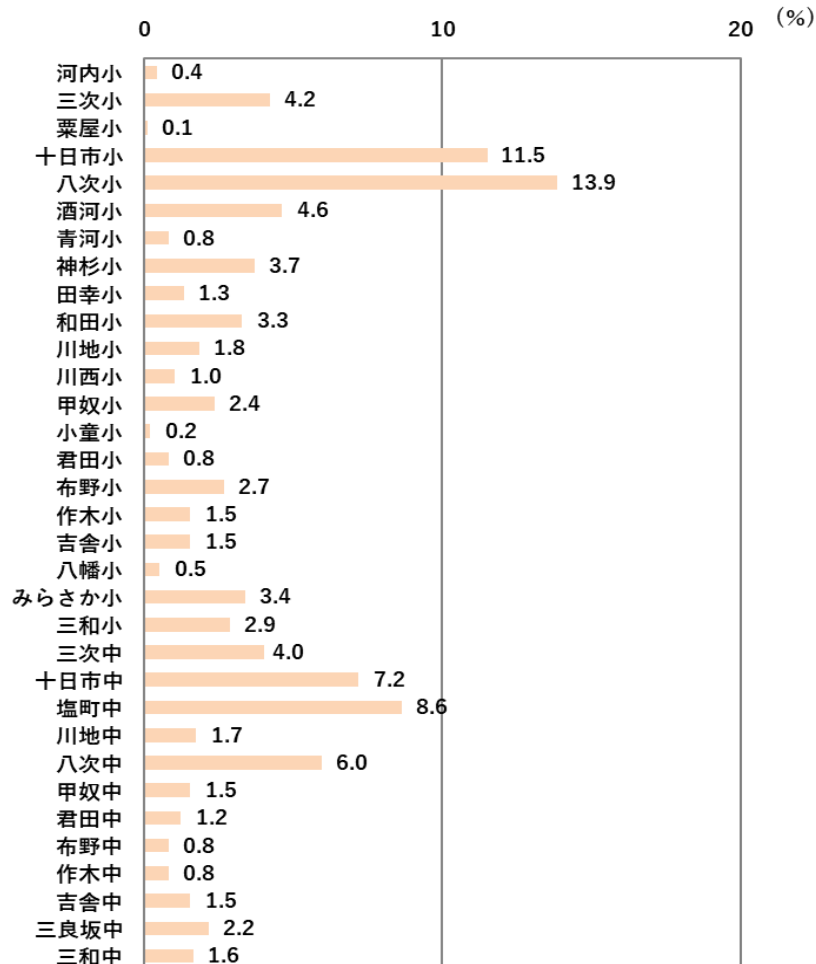
問2. あなたの年齢をお答えください。

No.	カテゴリ	実数	%
1	10歳代	1	0.1
2	20歳代	12	1.2
3	30歳代	279	28.7
4	40歳代	588	60.4
5	50歳代	82	8.4
6	60歳代	10	1.0
7	70歳代	1	0.1
8	80歳以上	0	0.0
	サンプル数 (% ベース)	973	100

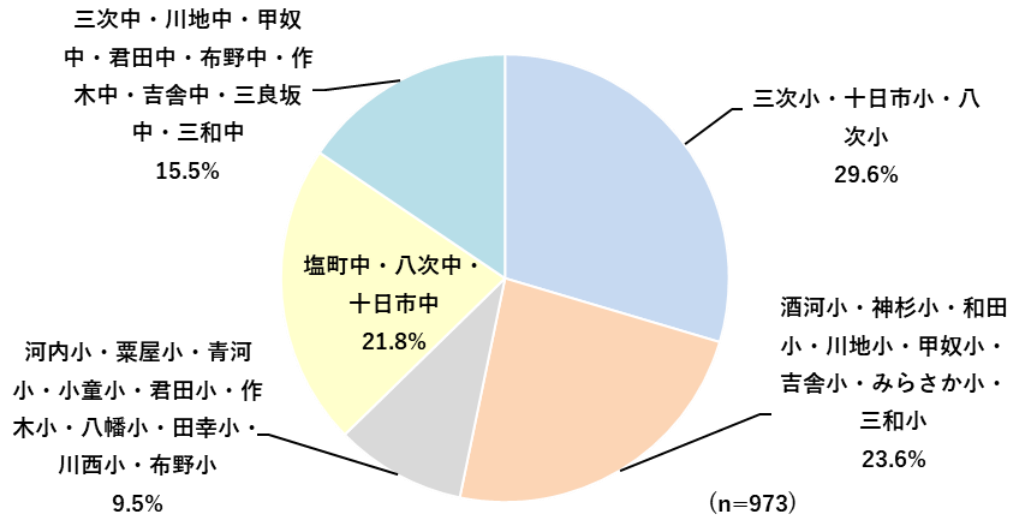


問3. あなたのお子さんが就学している学校について該当するものはどれですか。

No.	カテゴリ	実数	%
1	河内小	7	0.7
2	三次小	57	5.9
3	粟屋小	1	0.1
4	十日市小	130	13.4
5	八次小	153	15.7
6	酒河小	54	5.5
7	青河小	10	1.0
8	神杉小	42	4.3
9	田幸小	17	1.7
10	和田小	36	3.7
11	川地小	22	2.3
12	川西小	12	1.2
13	甲奴小	31	3.2
14	小童小	3	0.3
15	君田小	14	1.4
16	布野小	30	3.1
17	作木小	17	1.7
18	吉舎小	22	2.3
19	八幡小	5	0.5
20	みらさか小	37	3.8
21	三和小	40	4.1
22	三次中	39	4.0
23	十日市中	72	7.4
24	塩町中	84	8.6
25	川地中	17	1.7
26	八次中	58	6.0
27	甲奴中	15	1.5
28	君田中	12	1.2
29	布野中	8	0.8
30	作木中	8	0.8
31	吉舎中	15	1.5
32	三良坂中	21	2.2
33	三和中	16	1.6
	サンプル数 (% ベース)	973	100

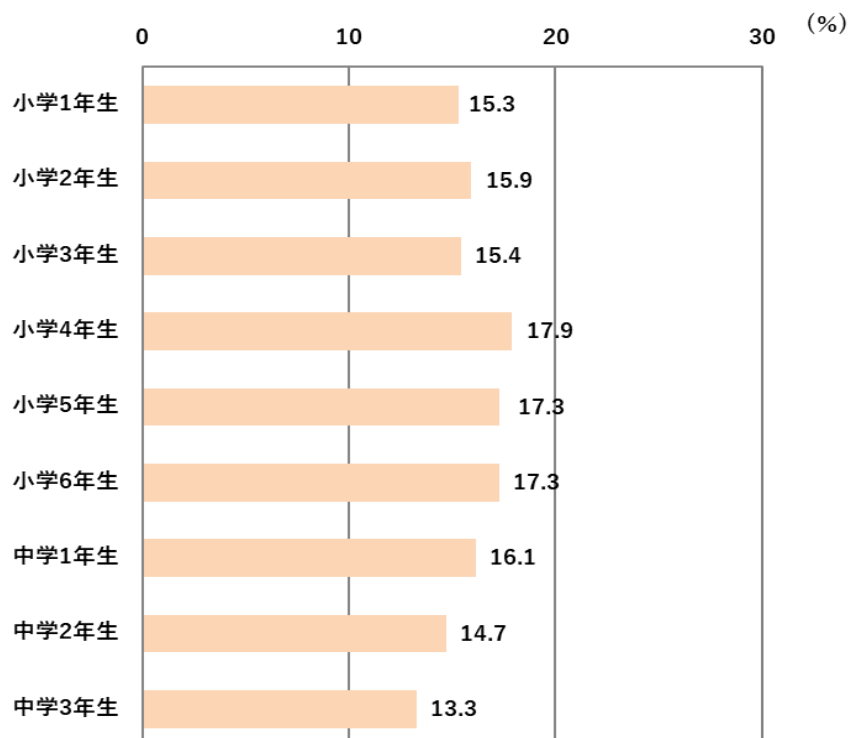


【学校規模別】



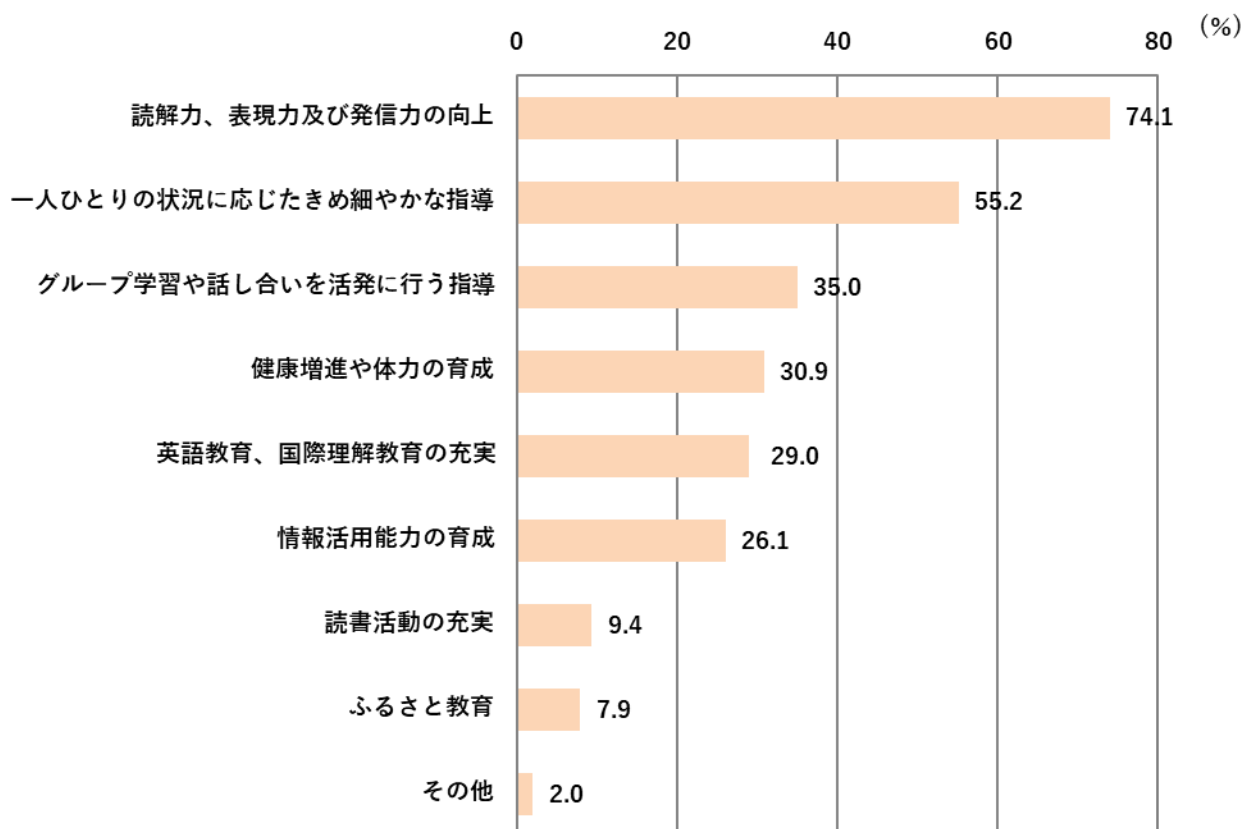
問4. あなたのお子さんについて該当するものはどれですか。 (MA)

No.	カテゴリ	実数	%
1	小学1年生	149	15.3
2	小学2年生	155	15.9
3	小学3年生	150	15.4
4	小学4年生	174	17.9
5	小学5年生	168	17.3
6	小学6年生	168	17.3
7	中学1年生	157	16.1
8	中学2年生	143	14.7
9	中学3年生	129	13.3
サンプル数 (% ベース)		973	100



問5-1. 確かな学力の育成について、あなたが重視することはなんですか。(3つまで)

No.	カテゴリ	実数	%
1	読解力、表現力及び発信力の向上	721	74.1
2	一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導	537	55.2
3	グループ学習や話し合いを活発に行う指導	341	35.0
4	読書活動の充実	91	9.4
5	情報活用能力の育成	254	26.1
6	英語教育、国際理解教育の充実	282	29.0
7	健康増進や体力の育成	301	30.9
8	ふるさと教育	77	7.9
9	その他	19	2.0
サンプル数 (% ベース)		973	100

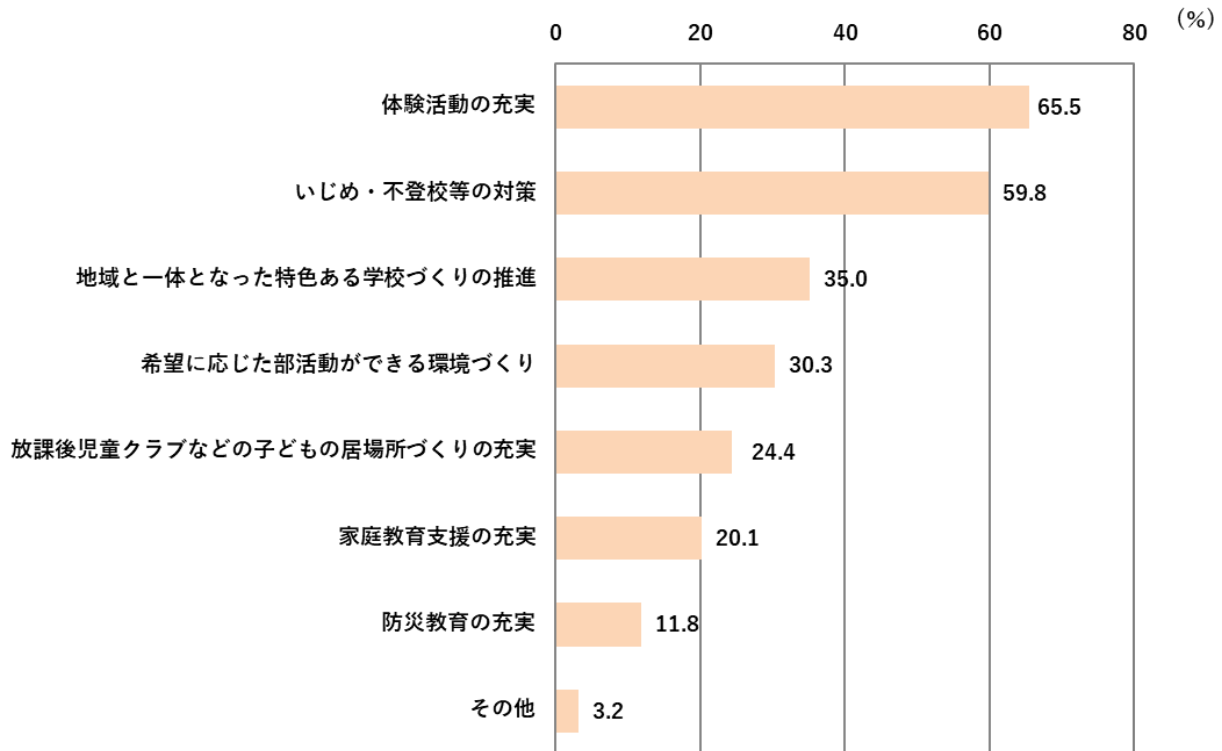


■ 「その他」の意見

- ・お金の教育 ・金融、自分の価値観に沿ったキャリア教育 ・わかりやすい授業
- ・人としての在り方 ・日本語教育の充実 ・粘り強く継続して努力する力 ・部活の充実
- ・好きな事を集中出来る教育 ・学ぶ楽しさ ・生きる力 ・得意な事を伸ばせる教育
- ・よくわからない ・目標設定(夢を創造できる能力と、具体的な目標に落とし込む能力)
- ・課題に取り組む気持ちの作り方。精神性。なぜ勉強が必要なのかを理解する心、考える力。
- ・勉強の楽しさ、必要性を感じて自ら学ぶ姿勢を養う ・自己肯定感の醸成
- ・体験活動。学力ばかりに焦点を当てる学校教育はいかかなものか。学力ばかりで子どもたちが息苦しくなり学校に行きたくなくなっている。自殺者も年々増加している。学力も現代には必要かもしれないが、本当に社会に出て必要なことは、戦後、教育してはならなくなっている。大人の都合ばかりで、子どもにとって本当に必要なことはなんなのか、今一度考える機会。全国にはそう言う小学校も存在する。前例がない決まり文句は聞き飽きた。
- ・基礎の国語の読解力、計算力がまるで足りていないと感じます。漢字の書き順などはまるでできていない。授業についていけないと感じます。

問5-2. 豊かな人間性の育成に関する取組について、あなたが重視することは何ですか。
(3つまで)

No.	カテゴリ	実数	%
1	いじめ・不登校等の対策	582	59.8
2	放課後児童クラブなどの子どもの居場所づくりの充実	237	24.4
3	地域と一体となった特色ある学校づくりの推進	341	35.0
4	家庭教育支援の充実	196	20.1
5	体験活動の充実	637	65.5
6	防災教育の充実	115	11.8
7	希望に応じた部活動ができる環境づくり	295	30.3
8	その他	31	3.2
	サンプル数(%ベース)	973	100

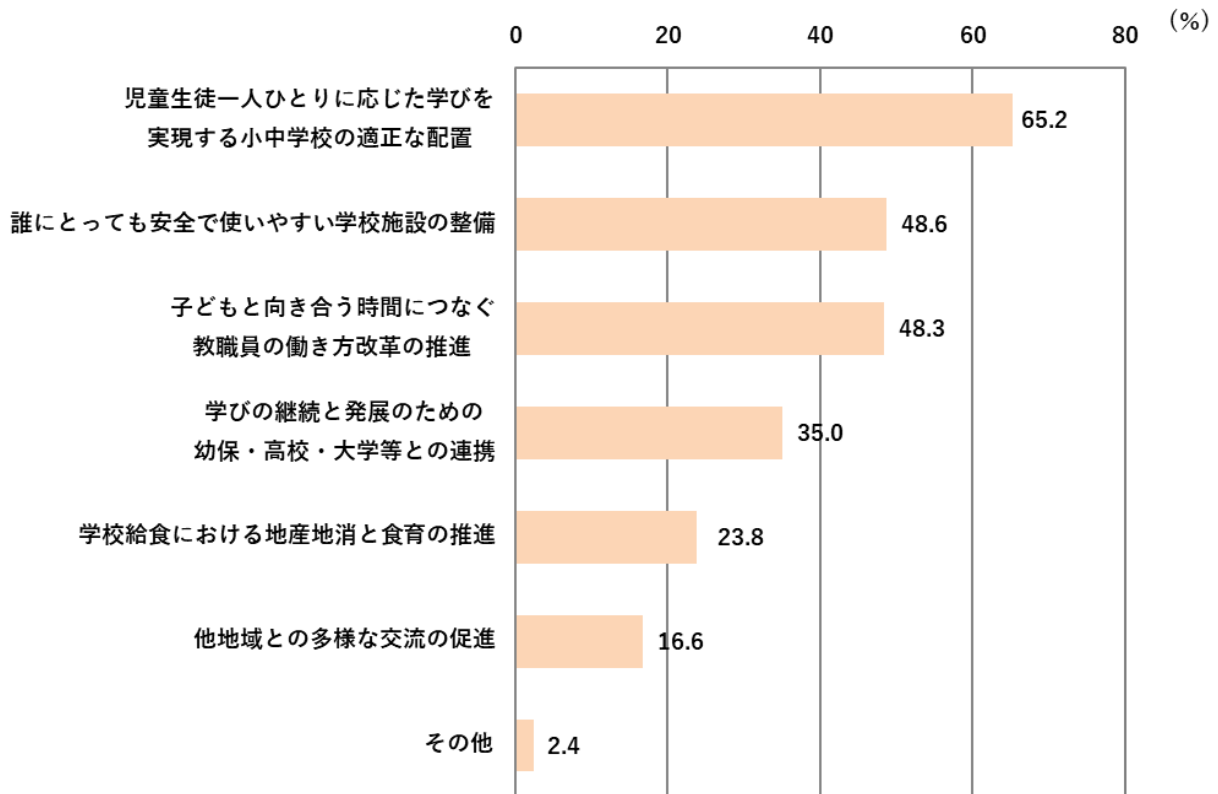


■ 「その他」の意見

- ・自由に遊べる遊び場 ・多様性の尊重 ・異文化に触れる体験(留学など) ・適切な生徒指導
- ・今の時代に合ったプログラム ・地域にとらわれない、学校は学校でやってほしい
- ・金融教育 ・礼儀作法 ・異学年交流 ・先生方の魅力を存分に発揮してもらうこと
- ・道徳、自己肯定感を高める取り組み ・礼節 ・特別支援教育の充実
- ・障害特性について理解して、環境が整っている
- ・学校外での異年齢との人との交流の充実 自然体験活動の充実 本人の意思を尊重すること
- ・企画力と実行力の育成 日教組・GHQの学校教育の枠にはめ込まない教育
- ・〇〇だからできない・させないではなく、どうやったらできるかを考える。子どもたちにも一緒に考えてもらう
- ・核家族化はわかるが保護者が甘え過ぎている為、子供とのコミュニケーション不足の改善
- ・参観日、発表会、PTC、体験行事など親子で取り組める時間づくり
- ・大人である先生達が楽しんでいることが大切であると思うので、大人の心の在り方についての学び
- ・他人や物や環境など自分の周囲を大切に作る心を育てる
- ・どう言った取り組みか知りませんが、食育も大事と言うなら給食時間を倍にしてゆっくり噛んで食べさせて。早食いになり、消化不良を招き、大人になってからの健康にも繋がる。
- ・子どもが発言できるようになる環境作り(ひとりひとりの声を聞く)

問5-3. 教育環境の整備・充実について、あなたが重視することは何ですか。
(3つまで)

No.	カテゴリ	実数	%
1	児童生徒一人ひとりに応じた学びを実現する小中学校の適正な配置	634	65.2
2	誰にとっても安全で使いやすい学校施設の整備	473	48.6
3	学びの継続と発展のための幼保・高校・大学等との連携	341	35.0
4	子どもと向き合う時間につなぐ教職員の働き方改革の推進	470	48.3
5	学校給食における地産地消と食育の推進	232	23.8
6	他地域との多様な交流の促進	162	16.6
7	その他	23	2.4
	サンプル数(% ベース)	973	100

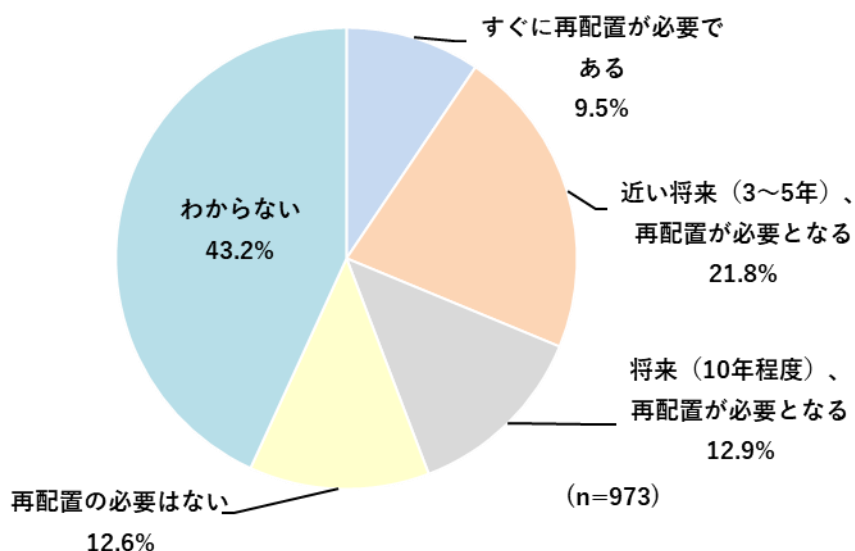


■ 「その他」の意見

- ・教員の適正人数配置、負担軽減・働き方改革 ・DX化、1人1人がパソコンを所有出来る環境
- ・大学授業料の支援 ・小中連携、高等教育の選択肢を学ぶ ・昔の考えをやめてほしい
- ・イェナプラン ・鼓笛隊の復活 ・自己探求 ・人数の多い児童の中でもまれること
- ・文科省のいいなりにならない独自の環境作り ・他校との交流。他の小学校と一緒にいる学校同士
- ・施設内での感染症感染対策、マスク手洗い換気空気清浄機
- ・給食や休憩の時間を十分に確保。教育支援ルームでも給食を食べられる様にさせていただく事。
- ・個性を伸ばさせるために、子どもたちで規則やルールも考えていける学校や居場所の整備。地域の資源や人とも連携しながらの体験から始まる学びの充実。不登校の子だけではなく、全体の子ども対象に、学びの多様化学校の必要を感じます。選択肢がたくさんあり、個性に応じて自ら選べる必要性を感じます
- ・体力低下を危惧しているのなら、トイレの洋式化や体育座り、何かにつけて危険だ危険だと言うなどをやめて
- ・給食の時間に課題をさせられているようなので、そんな学校では環境の整備や充実はできないと思います
- ・地域差なく通級を学内対応できるような環境。指導する方の確保も必要だが、申請期間が前年度から開始されること。年度途中の利用ができないこと。利用が必要と判断された時点から利用できるような柔軟な対応が必要
- ・こどもの権利条約を理解し、こどもの意思を尊重できる教職員への研修と教育

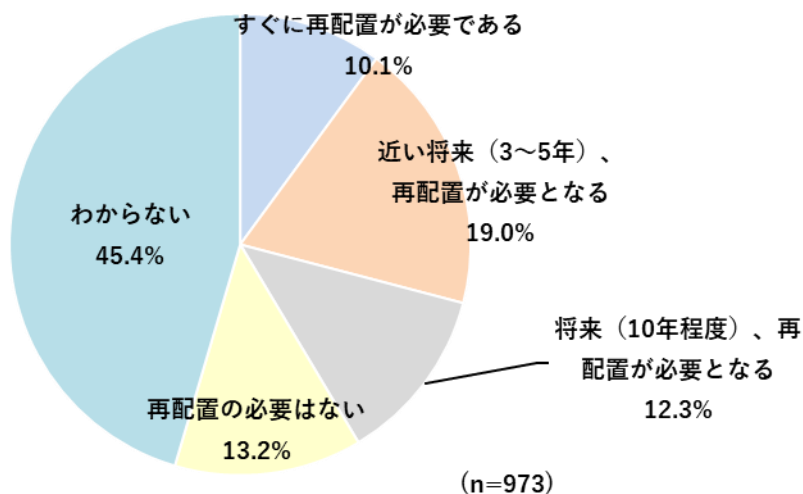
問6-1. 小学校の配置について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

No.	カテゴリ	実数	%
1	すぐに再配置が必要である	92	9.5
2	近い将来(3~5年)、再配置が必要となる	212	21.8
3	将来(10年程度)、再配置が必要となる	126	12.9
4	再配置の必要はない	123	12.6
5	わからない	420	43.2
	サンプル数(%ベース)	973	100



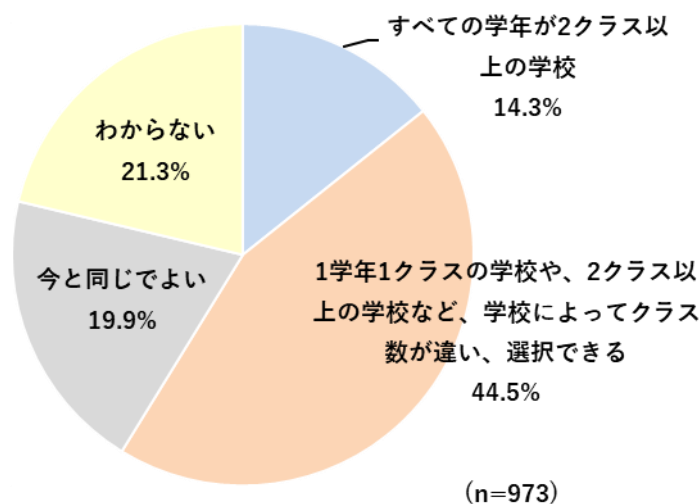
問6-2. 中学校の配置について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

No.	カテゴリ	実数	%
1	すぐに再配置が必要である	98	10.1
2	近い将来(3~5年)、再配置が必要となる	185	19.0
3	将来(10年程度)、再配置が必要となる	120	12.3
4	再配置の必要はない	128	13.2
5	わからない	442	45.4
	サンプル数(%ベース)	973	100



問7-1. 市内小学校の再配置を行う場合、どの程度のクラス数が望ましいと思いますか。

No.	カテゴリ	実数	%
1	すべての学年が2クラス以上の学校	139	14.3
2	1学年1クラスの学校や、2クラス以上の学校など、学校によってクラス数が違い、選択できる	433	44.5
3	今と同じでよい	194	19.9
4	わからない	207	21.3
	サンプル数 (% ベース)	973	100



問7-2. 市内中学校の再配置を行う場合、どの程度のクラス数が望ましいと思いますか。

No.	カテゴリ	実数	%
1	すべての学年が2クラス以上の学校	195	20.0
2	1学年1クラスの学校や、2クラス以上の学校など、学校によってクラス数が違い、選択できる	387	39.8
3	今と同じでよい	161	16.5
4	わからない	230	23.6
	サンプル数 (% ベース)	973	100

